

会 議 録

会議の名称	令和7年度第3回豊中市産業振興審議会		
開催日時	令和8年（2026年）1月27日（火） 18時00分～18時40分		
開催場所	Zoomを利用したオンライン開催	公開の可否	可・不可・一部不可
事務局	都市活力部 産業振興課	傍聴者数	1人
公開しなかった理由			
出席者	委員	和田委員（会長）、小西委員、東委員、稲垣委員、石川委員、北村委員	
	事務局	高島都市活力部長 産業振興課 水谷次長兼課長、荒木主幹、垣内副主幹、若林係長、牟田主査	
	その他	株式会社都市・計画・設計研究所	
議題	<p>(1) 新・産業振興ビジョンの中間見直しに係る基本的な考え方について（答申）</p> <p>(2) 子育て支援サービス事業補助金、スタートアップ支援補助金、チャレンジ事業補助金の審査に対する意見に係る諮問について</p> <p>(3) その他</p>		
審議等の概要 （主な発言要旨）	別紙のとおり		

令和7年度第3回豊中市産業振興審議会議事録概要

日時：令和8年1月27日（火）18時～18時40分

開催方式：通信アプリZoomを利用したオンライン開催方式

出席者：和田委員（会長）、小西委員、東委員、稲垣委員、石川委員、北村委員

事務局：高島部長、水谷次長、荒木主幹、若林係長、垣内副主幹、牟田主査

その他：株式会社都市・計画・開発研究所

傍聴者：1名

1. 開会

- ・事務局挨拶
- ・資料の確認

資料1 豊中市 新・産業振興ビジョン中間見直しに係る基本的な考え方について 答申案

資料2 豊中市 新・産業振興ビジョン中間見直し案（概要）

参考資料1 豊中市 新・産業振興ビジョン中間見直し 素案

参考資料2 （案）子育て支援サービス事業補助金募集要領

参考資料3 （案）スタートアップ支援補助金募集要領

参考資料4 （案）チャレンジ事業補助金募集要領

- ・審議会の成立確認（委員の過半数の出席）：委員8名中6名にご参加いただいているため、本審議会は成立すること

2. 案件

（1）新・産業振興ビジョンの中間見直しに係る基本的な考え方について（答申）

（事務局）

- ・資料1, 資料2に基づき説明

（会長）

- ・事務局が説明した報告内容について何か質問や意見はないか。

（委員）

- ・答申案を読ませていただき、商工会議所と豊中市との連携の太さを感じる一方で、商工会議所内ではなかなか話が出来ていない面がある。今回のビジョン策定を機に、より一層連携を密に図っていく必要があると改めて感じている。

(委員)

- ・ビジョン自体はわかりやすくまとめていただいたと感じている。大阪大学との連携の話が挙げられているが、先日大阪大学内でも豊中市とりそな銀行との産学官連携のことが話題に挙がっていた。その中で、大阪大学としてはどのように関わっていけばよいのか若干見えていないところがあり、例えば豊中市が考える社会課題があり、解決するための研究をしてほしいといったリクエストのようなものはあるのか。

(事務局)

- ・昨日産学官連携協定を締結したところで、りそな銀行から豊中市にふるさと納税をいただき、これを財源に大学の研究に対して補助金を交付するというスキームである。貴大学には補助金申請する研究を決めていただきたい。これは豊中キャンパスに限ったことではなく、吹田キャンパスからでもよい。人手不足や高齢化は本市産業を取り巻く喫緊の課題と感じているので、解消の一手を担ってもらえるような研究が出てきてくれたらという想いはあるが、市から特定の研究内容をリクエストすることはない。

(会長)

- ・そのほか、答申について前回挙げた意見の反映という視点で意見はあるか。

(委員)

- ・前回申し上げた意見は反映いただいているので、この内容で問題ない。

(委員)

- ・前回の意見を反映してもらい、わかりやすくまとめていただいております。理解も深まった。

(委員)

- ・短期的な取組み、中長期的な取組みがそれぞれ整理できていると感じた。あとはこのビジョンを基にした取組み内容を、市民の方々や他の自治体にPR・情報周知をしていただき、先進モデルになってもらいたい。

(会長)

- ・事務局から何か意見はあるか。

(事務局)

- ・一部、資料に脱字があったので、修正させていただく。その他は、特になし。

(会長)

- ・それでは、この内容で事務局と会長で最終調整し、後日答申させていただく。

(2) 子育て支援サービス事業補助金、スタートアップ支援補助金、チャレンジ事業補助金の審査に対する意見に係る諮問について

- ・子育て支援サービス事業補助金、スタートアップ支援補助金、チャレンジ事業補助金の審査に対する意見についての諮問を市長から審議会に行う。
- ・部長が諮問書を読み上げた。

(会長)

- ・子育て支援サービス事業補助金、スタートアップ支援補助金、チャレンジ事業補助金については、部会において集中して審議し、審議会として確認していく必要があるため、本諮問については、部会で審議し、部会から審議会に報告を受けた上で答申していきたいと考えている。
全会一致で異議なしであるため、審議会規則第7条第1項に基づき部会を設置する。
- ・審議会規則第7条第2項及び第3項に基づき部会長及び部会に所属する委員を下記のとおり指名する。

部会長	東 純子委員
部会委員	石川 聖子委員
部会委員	稲垣 知成委員

(3) その他

(事務局)

- ・2月13日～3月5日に豊中市 新・産業振興ビジョン中間見直し案のパブリックコメントを実施する。
- ・パブリックコメントを受けて最終確定した内容は、令和8年度の豊中市施策内容と合わせて各委員に電子メールにて送付させていただく。
- ・本日の会議録について、事務局で作成した案を、後日、委員の皆様にご確認いただき、内容を確定する。なお、会議録の概要については、豊中市HPなどで公開することを了承いただきたい。

(会長)

- ・本日予定していた案件は以上で全て終了した。これで令和7年度第3回豊中市産業振興審議会を閉会する。

以上